

「花粉症、早めの治療が大切です」

城里町国保七会診療所 上井 雅哉

スギ、ヒノキなどの花粉が原因でくしゃみ、鼻水、目のかゆみなどを起こす病気を花粉症といいます。現在日本人の約20%がかかっており、近年増加しているともいわれています。

私たちの体が花粉を異物と判断すると免疫抗体が働き、くしゃみで吹き飛ばす、鼻水や涙で洗い流すなどの方法で防御しようとし、このように特定の異物に対して過剰な反応を起こすことをアレルギーといいます。

○花粉症の症状

主な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり（アレルギー性鼻炎）、目のかゆみ、異物感（アレルギー性結膜炎）など。これらの症状（重症度）には個人差がありますが、2月から5月の期間は、スギ・ヒノキの飛散量に応じて症状悪化の可能性があります。

また、花粉症はつらい症状のため集中力・思考力が低下し、仕事、勉強などに支障をきたすことが大きな問題です。適切な治療を受け、これらの症状を抑えることがポイントです。

○花粉症の治療

花粉症の治療には、次の方法があります。

・対症療法（薬剤で症状を緩和する方法）

くしゃみ、鼻水、鼻づまりの原因（ヒスタミン、ロイコトリエンなどの物質の働き）を抑える方法とアレルギーの細胞から原因物質が放出されるのを抑える方法があります。

・原因療法（花粉症の原因を取り除く方法）

体に入る花粉を少しでも少なくする工夫とあわせて、重い症状には免疫療法（減感作療法）を含む原因療法が用いられます。減感作療法は花粉の抽出液を繰り返し注射することによって体を慣らしていく方法ですが、効果が出るまでに数年かかります。

花粉症の治療を医師に相談すると…

①花粉症かどうかを適切に鑑別できる

花粉症の症状には風邪の症状とよく似ているものがあります。

②症状に応じた治療を相談できる

花粉症による鼻炎の症状には、くしゃみ・鼻汁型と鼻閉型（鼻づまり）とがあり、それぞれ有効薬剤が異なります。症状に応じた治療方法を相談しましょう（眠気やのどが渇くなどの副作用が少ない薬剤の処方も相談できます）。

③アレルギー原因物質の特定ができる

血液検査により、60種以上あるといわれる花粉の原因や、他のアレルギー原因物質（ハウスダスト、ダニ他）の特定が可能です。

花粉症の治療はお早めに！

花粉の飛散が始まる時期（関東では2月上旬頃）から始める早期治療の有効性が確認されています。シーズン中の症状緩和のためには、早期治療が大切です。

水戸市消防本部からのお知らせ

救急車と消防車のPA連携について ～救急車を呼んだら…、消防車もきた?!～

「救急車を呼んだのに、消防車が来た!」「火事が発生している訳でもないのに、消防車が出動している!」とビックリされる場合があるかも知れません。

城里出張所の救急車が出動中の場合には、他の救急隊が到着するまでの間、救急隊員と同じ救急資格を持った消防隊員が駆けつけ、心肺蘇生法等を行います。

この方法により心肺蘇生法等を一刻も早く行うことで、救命率の向上が期待できます。

問合せ 水戸市消防本部 救急課 ☎029-221-0126



PA連携とは…

消防ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が連携して救助に当たることをいいます。

水戸市消防本部では、患者さんを迅速・安全に搬送するため、通報内容や現場の状況に応じて救急現場に消防車を同時に出動させることがあります。